

2013年（平成25年）5月20日（月曜日）

大 館 市

種まきに備え施肥作業

釈迦内サンフラワープロジェクト

今年約50人で 児童や保護者ら汗流す

大館市釈迦内小（五十嵐経校長）の児童らは19日、ヒマワリを育てる畑で、保護者や地域住民と協力しながら作業に汗を流した。



釈迦内地区では、釈迦内小を中心にヒマワリ栽培とヒマワリ油を製造する同プロジェクトに取り組んでいる。

今年度ヒマワリを栽培する畑は、同校周辺のほか、松峰や高館下の畑などで、広さは昨年度とほぼ同じ規模の約50ア。施肥作業には児童や地域住民ら約160人が参加し、4カ所に分かれてそれぞれ作業した。

このうち、高館下では児童17人や釈迦内地区婦人会員、保護者など合わせて

釈迦内小児童らがヒマワリの種まきを前に畑に肥料をまいた

せて約50人が参加し、協賛企業から借り受けた約30アの土地に手作業や重機を使って満遍なく肥料をまいた。

めは、臭いに鼻をつまんでいた児童も、作業に熱が入ってくると我先にと一輪車で畑の隅まで肥料を運び、スコップで土に混ぜていた。

日景永翔君（6年）は「臭いが気になっただけ

ど、慣れると手早く作業することができて良かった。今年ヒマワリ油がいっぱい売れるように工夫して頑張っていた」と話していた。

種まきは、今月下旬から来月上旬を予定。